

「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン」における工程表

申請担当大学名	札幌医科大学
連携大学名	北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学
事業名	人と医を紡ぐ北海道がん医療人養成プラン

① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	北海道内の医療系大学が先進的に進めている遺伝医療、がんゲノム医療、遠隔医療、多職種連携診療の英知を結集し、道内の中核医療機関とも連携して、大学院生はもとより地域の医療機関で研修する医師やがん診療にかかわる医療従事者に高度な専門教育を提供し、地域横断的、専門職横断的、臓器(がん種)横断的な包括的がん医療を担う人材及び次世代のがんゲノム医療を担う研究者を養成する。

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
インプット・プロセス (投入、入力、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> がん研究コース新規受入(大学院生10名、外科系がん診療医5名)【札幌医大】 がんゲノム医療人養成コース(インテック)受入160名(医師30名、後期研修医30名、看護師100名)【札幌医大】 がん教育プログラム新規受入(大学院生4名、医師2名)【北大】 がん医療・支援を担う専門職者養成コース(インテック)受入150名(医師30名、看護師60名、薬剤師30名、その他30名)【北大】 がん教育プログラム新規受入(大学院生2名)【旭川医大】 地域がんチーム医療プロフェッショナル養成コース(インテック)受入60名【旭川医大】 がん看護コース新規受入(大学院生3名)【道医療大】 地域がん医療連携の推進を担う薬剤師養成コース(インテック)受入150名(薬剤師120名、がん患者等30名) 	<ul style="list-style-type: none"> がん研究コース新規受入(大学院生10名、外科系がん診療医10名)【札幌医大】 がんゲノム医療人養成コース(インテック)受入160名(医師30名、後期研修医30名、看護師100名)【札幌医大】 がん教育プログラム新規受入(大学院生8名、医師4名)【北大】 がん医療・支援を担う専門職者養成コース(インテック)受入300名(医師60名、看護師120名、薬剤師60名、その他60名)【北大】 がん教育プログラム新規受入(大学院生3名、大学院生(看護師)2名)【旭川医大】 地域がんチーム医療プロフェッショナル養成コース(インテック)受入120名【旭川医大】 がん看護コース新規受入(大学院生3名)【道医療大】 地域がん医療連携の推進を担う薬剤師養成コース(インテック)受入150名(薬剤師120名、がん患者等30名) 	<ul style="list-style-type: none"> がん研究コース新規受入(大学院生10名、外科系がん診療医10名)【札幌医大】 がんゲノム医療人養成コース(インテック)受入160名(医師30名、後期研修医30名、看護師100名)【札幌医大】 がん教育プログラム新規受入(大学院生8名、医師4名)【北大】 がん医療・支援を担う専門職者養成コース(インテック)受入300名(医師60名、看護師120名、薬剤師60名、その他60名)【北大】 がん教育プログラム新規受入(大学院生3名、大学院生(看護師)2名)【旭川医大】 地域がんチーム医療プロフェッショナル養成コース(インテック)受入120名【旭川医大】 がん看護コース新規受入(大学院生3名)【道医療大】 地域がん医療連携の推進を担う薬剤師養成コース(インテック)受入150名(薬剤師120名、がん患者等30名) 	<ul style="list-style-type: none"> がん研究コース新規受入(大学院生10名、外科系がん診療医10名)【札幌医大】 がんゲノム医療人養成コース(インテック)受入160名(医師30名、後期研修医30名、看護師100名)【札幌医大】 がん教育プログラム新規受入(大学院生8名、医師4名)【北大】 がん医療・支援を担う専門職者養成コース(インテック)受入300名(医師60名、看護師120名、薬剤師60名、その他60名)【北大】 がん教育プログラム新規受入(大学院生3名、大学院生(看護師)2名)【旭川医大】 地域がんチーム医療プロフェッショナル養成コース(インテック)受入120名【旭川医大】 がん看護コース新規受入(大学院生3名)【道医療大】 地域がん医療連携の推進を担う薬剤師養成コース(インテック)受入150名(薬剤師120名、がん患者等30名) 	<ul style="list-style-type: none"> がん研究コース新規受入(大学院生10名、外科系がん診療医10名)【札幌医大】 がんゲノム医療人養成コース(インテック)受入160名(医師30名、後期研修医30名、看護師100名)【札幌医大】 がん教育プログラム新規受入(大学院生8名、医師4名)【北大】 がん医療・支援を担う専門職者養成コース(インテック)受入300名(医師60名、看護師120名、薬剤師60名、その他60名)【北大】 がん教育プログラム新規受入(大学院生3名、大学院生(看護師)2名)【旭川医大】 地域がんチーム医療プロフェッショナル養成コース(インテック)受入120名【旭川医大】 がん看護コース新規受入(大学院生3名)【道医療大】 地域がん医療連携の推進を担う薬剤師養成コース(インテック)受入150名(薬剤師120名、がん患者等30名)
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> がんプロフェッショナル養成ボード会議の開催 評価委員会の開催 専用webサイトの管理運営 	<ul style="list-style-type: none"> がんプロフェッショナル養成ボード会議の開催 評価委員会の開催 専用webサイトの管理運営 	<ul style="list-style-type: none"> がんプロフェッショナル養成ボード会議の開催 評価委員会の開催 専用webサイトの管理運営 	<ul style="list-style-type: none"> がんプロフェッショナル養成ボード会議の開催 評価委員会の開催 専用webサイトの管理運営 	<ul style="list-style-type: none"> がんプロフェッショナル養成ボード会議の開催 評価委員会の開催 専用webサイトの管理運営

アウトプット (結果、出力)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・がんゲノム医療人養成コース(インテンシブ)修了者160名(医師30名、後期研修医30名、看護師100名)【札幌医大】 ・がん医療・支援を担う専門職者養成コース(インテンシブ)修了者150名(医師30名、看護師、60名、薬剤師30名、その他30名)【北大】 ・地域がんチーム医療プロフェッショナル養成コース(インテンシブ)修了者60名【旭川医大】 ・地域がん医療連携の推進を担う薬剤師養成コース(インテンシブ)修了者150名(薬剤師120名、がん患者等30名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんゲノム医療人養成コース(インテンシブ)修了者160名(医師30名、後期研修医30名、看護師100名)【札幌医大】 ・がん医療・支援を担う専門職者養成コース(インテンシブ)修了者300名(医師60名、看護師120名、薬剤師60名、その他60名)【北大】 ・地域がんチーム医療プロフェッショナル養成コース(インテンシブ)修了者120名【旭川医大】 ・地域がん医療連携の推進を担う薬剤師養成コース(インテンシブ)修了者150名(薬剤師120名、がん患者等30名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんゲノム医療人養成コース(インテンシブ)修了者160名(医師30名、後期研修医30名、看護師100名)【札幌医大】 ・がん医療・支援を担う専門職者養成コース(インテンシブ)修了者300名(医師60名、看護師120名、薬剤師60名、その他60名)【北大】 ・地域がんチーム医療プロフェッショナル養成コース(インテンシブ)修了者120名【旭川医大】 ・地域がん医療連携の推進を担う薬剤師養成コース(インテンシブ)修了者150名(薬剤師120名、がん患者等30名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんゲノム医療人養成コース(インテンシブ)修了者160名(医師30名、後期研修医30名、看護師100名)【札幌医大】 ・がん医療・支援を担う専門職者養成コース(インテンシブ)修了者300名(医師60名、看護師120名、薬剤師60名、その他60名)【北大】 ・地域がんチーム医療プロフェッショナル養成コース(インテンシブ)修了者120名【旭川医大】 ・地域がん医療連携の推進を担う薬剤師養成コース(インテンシブ)修了者150名(薬剤師120名、がん患者等30名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんゲノム医療人養成コース(インテンシブ)修了者160名(医師30名、後期研修医30名、看護師100名)【札幌医大】 ・がん医療・支援を担う専門職者養成コース(インテンシブ)修了者300名(医師60名、看護師120名、薬剤師60名、その他60名)【北大】 ・地域がんチーム医療プロフェッショナル養成コース(インテンシブ)修了者120名【旭川医大】 ・地域がん医療連携の推進を担う薬剤師養成コース(インテンシブ)修了者150名(薬剤師120名、がん患者等30名)
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるセミナーの開催による高度ながん医療を学ぶ機会の確保 ・市民公開講座の開催によるがん医療の現状等についての市民啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるセミナーの開催による高度ながん医療を学ぶ機会の確保 ・市民公開講座の開催によるがん医療の現状等についての市民啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるセミナーの開催による高度ながん医療を学ぶ機会の確保 ・市民公開講座の開催によるがん医療の現状等についての市民啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるセミナーの開催による高度ながん医療を学ぶ機会の確保 ・市民公開講座の開催によるがん医療の現状等についての市民啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるセミナーの開催による高度ながん医療を学ぶ機会の確保 ・市民公開講座の開催によるがん医療の現状等についての市民啓発
アウトカム (成果、効果)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるセミナー(3回開催、参加者150人) ・市民公開講座(3回開催、参加者300人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるセミナー(3回開催、参加者150人) ・市民公開講座(3回開催、参加者300人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるセミナー(3回開催、参加者150人) ・市民公開講座(3回開催、参加者300人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるセミナー(3回開催、参加者150人) ・市民公開講座(3回開催、参加者300人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるセミナー(3回開催、参加者150人) ・市民公開講座(3回開催、参加者300人)
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院コースによるがん専門医療人材の養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院コースによるがん専門医療人材の養成 ・大学院コース(修士)修了、がん医療への従事、がん専門医関連資格取得促進 ・看護コース修了、がん医療への従事、がん看護専門看護師の資格取得促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院コースによるがん専門医療人材の養成 ・大学院コース(修士等)修了、がん医療への従事、がん専門医関連資格取得促進 ・看護コース修了、がん医療への従事、がん看護専門看護師の資格取得促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院コースによるがん専門医療人材の養成 ・大学院コース修了、がん医療への従事、がん専門医関連資格取得促進 ・看護コース修了、がん医療への従事、がん看護専門看護師の資格取得促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院コースによるがん専門医療人材の養成 ・大学院コース修了、がん医療への従事、がん専門医関連資格取得促進 ・看護コース修了、がん医療への従事、がん看護専門看護師の資格取得促進

③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	本事業は各大学の連携の下で実施するものであることを踏まえ、一部の大学が主体となって実施するのではなく、事業責任者のリーダーシップの下、事業における各大学の役割や責任体制を明確化し、連携大学すべてが一体となって事業を推進すること。また、事業期間終了後も各大学において、長期的な展望に基づく具体的な事業継続の方針・考え方について検討し、自立化した事業体制を構築すること。	4大学は既に共同の運営体制を構築しており、北大と旭川医大、礼医大、医療大のプログラム関連の研究科長およびコーディネーター、コース担当責任者等からなる「がん専門医療人材養成ボード」により、大学と地域病院との連携、各養成コースの推進管理、e-ラーニングを含む合同カリキュラムやインテグレーションコースの企画、運営を行う。 本プログラム事業終了後も各大学における大学院コースを存続し、大学院生の専門資格取得や卒業後の地域におけるがん診療への貢献を支援する。単位互換による講義やIGTを用いた地域支援教育については本プログラムによって構築されたインフラを活用し、4大学の協力体制を維持、発展させる。
②	厳格な事業の進捗管理の下、自己点検・評価や患者等を含む外部評価を実施し、事業の不断の見直しを行いつつ、がん医療の新たなニーズに対応できる優れた人材を養成する体系的な教育プログラムを展開すること。その際、履修する学生や医療従事者等のキャリアパス形成に資するものとする。また、客観的なアウトプットやアウトカムを年度ごとに明確にすること。	がん専門医療人材養成ボード会議を年2回開催し、本事業の運営やプログラム内容の見直しを行う。また、北海道、職能団体、連携病院等、さらには当事者の視点も反映できるよう患者団体代表やがんサバイバーなども参加し、男女双方を含む評価委員会を設置し、本事業の進捗やプログラム内容などに関して客観的に評価することにより、プラン全体の充実・向上を図る。
③	成果や効果は可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信すること。また、他大学の参考となるよう、特色ある先進的な取組やモデルとなる取組について、実現するためのノウハウ、留意点等も含めて積極的に情報発信するなど、成果等の普及・展開に努めること。	専用WEBサイトを立ち上げ、本事業について広く情報発信に努めていく。 また、市民公開講座による一般市民を対象とした啓発や、地域におけるセミナーにより地域の医療機関の医療者にも高度ながん医療を学ぶ機会を確保していく。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(充実を要する点)	対応方針
インテグレーションコースの内容について、課題をより具体的に抽出したきめ細かいプログラムとなるよう検討する必要がある。	がん専門医療人材養成ボード会議の構成メンバーによる検討や、アンケート調査、評価委員会による評価などを踏まえ、プログラムの内容について常に見直しをしていく。
質的目標達成のために、大学院生や患者など当事者団体にアンケートによるフィードバックからプログラムの改善改良を目指すようであるが、アンケート内容が多岐・多岐と思われ、その実施と分析には一層の工夫と効率性の検討が望まれる。	がん専門医療人材養成ボード会議の構成メンバーによる検討を踏まえ、アンケート内容について工夫していく。
北海道における癌死減少を意識したゲノム医療のインフラ・教育・啓蒙などについて短期的、長期的展望の検討が望まれる。	教育プログラムに参加する大学院生のアンケート結果などを踏まえ、がん専門医療人材養成ボード会議において検討していく。 また、札幌医科大学においては、がんゲノムの研究教育体制の構築について検討を進めることとしている。
がん患者の就労や、島嶼・山間部など医療過疎地へのがん実地医療やがん教育などの視点のほか、老年医学的視点も加えた高齢者の特性に関する教育体制構築についても検討が望まれる。	当事者団体等による評価を実施するなど当事者の視点を意識した人材育成プログラムを展開する。 遠隔医療システムの活用や本教育プログラムにおいて育成する医療従事者が、人々が住み慣れた地域でがん診療を受けることを支えることを目指していく。 連携4大学はそれぞれの特色を生かし、教育方法などの共有や教育支援の分担について、がん専門医療人材養成ボード会議などにより意見交換を行う。